

仕 様 書

1 業務名称

令和2年度中学校英語教員英語指導力向上事業

2 目 的

中学校及び義務教育学校後期課程（以下、中学校という。）では、令和3年度から新学習指導要領が全面実施され、英語の授業は英語で行うことが基本となる。

また、「聞く・読む・話す・書く」の4技能統合型の授業実践が重要であり、中学生の段階から聞く・話す力を養う教育の実施が求められる。更に、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、語彙や表現等の知識を5つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ることが重要であり、その英語力・英語指導力が必要である。

本事業では、英語教育を専門とする民間企業への委託により、中学校英語教員を対象とした聞く・話す力に重点を置いた研修を実施する。受講教員が英語指導力に対して自信を高め、紹介された内容を各々の授業で実践し、授業改善が確実に行われるよう、英語力・英語指導力の向上を図る。

3 履行期間

契約締結日～ 令和3年1月31日

4 委託予定額の上限設定等

2, 700千円（税込）

※委託予定額の上限を超えた場合は失格となります。

5 履行場所

別途京都府が定める会場（京都府内の複数会場）で行うこととし、会場料は京都府が負担する。

6 研修受講対象

京都府内中学校英語教員（約130名程度。京都市立中学校を除く。）

7 業務内容

(1) 以下の条件により、対象者に対し、本事業の目的に沿って、聞く・話す力を養う授業が展開できる能力を向上させる研修を行う。

ア 研修の講師はネイティブスピーカーとする。

イ 12名～13名を1グループとし、1グループ当たり1名以上の講師が入ることとする。

ウ 1グループにつき、3時間単位の研修を3日間で行う。

エ 研修日は7月3日（金）、10月7日（水）、11月24日（火）を予定している。

オ 研修は、新学習指導要領を十分踏まえた内容とし、使用する教材や指導法等についても日々の授業で実践しやすいものとする。また、受講後の授業実践を踏まえた研修内容とするなど、速やかな授業改善につながる手立てを導入すること。

(2) (1)の研修以外で、効果的な自主学習を行える手法を、対象者に提供する。

8 その他

受託者は、研修終了後、速やかに事業完了報告書を提出すること（報告内容については、別途指示する）。